

カテーテル検査室用体温保温装置

姫路赤十字病院 三井 友成

【必要性】

急性心筋梗塞の患者は、大量の冷や汗をかくことがあり、しばしば体温低下を来すことがある。検査中は、ほぼ裸体になるため寒気を訴えることも多い。

そこで、患者の治療中に体温を温める装置を開発したい

【現有品】

同じような状況の手術室では、患者の下に敷く水流マットや熱線式の加温装置があるが、X線に映るため使用することが出来ない

【商品アイデア】

患者の体側に沿って、熱線式保温シート：X線に映らない程度（15cm×1m）でコの字型であれば望ましい

